

Teradata Backup-to-Disk Solution

Data Warehousing > Backup, Archive, Restore

ディスク・ベースによるバックアップで高い信頼性と迅速なリストアを実現

Teradata バックアップ・ツー・ディスク (B2D) ソリューション

グローバル化が進み、ビジネスニーズや用途が拡大したコンピューター利用環境では、ビジネスの生産性をさらに高めるためにアプリケーションのサービス・レベルの引き上げが求められています。特にバックアップとリストア処理は、企業のデータウェアハウスのパフォーマンスとサービスの可用性に重大な影響を及ぼしています。Teradata B2D ソリューションは、バックアップ/リカバリー・オペレーションの最適化を行い、データセンターのオペレーションを効率化し、サービス・レベルを高め、生産性を増大させることができます。

Teradata B2D ソリューションは、確実なバックアップ/リカバリー・オペレーションを保証する最先端のデータウェアハウス・ソリューションの一部です。このB2Dソリューションは、既存のTeradataシステムのテープ・バックアップ・ソリューションと合わせてシームレスに使用できます。また、Teradata 9204 B2Dとストレージ管理ソフトウェアで構成されており、完全な2段階バックアップ/リカバリー・ソリューションを提供します。

バックアップ/リカバリーの最適化

- > ライブラリ、ロボットあるいはテープの故障停止によるバックアップジョブのリストアの発生を排除します。
- > ディスク・ベース・テクノロジーにより、信頼性が向上し、リストア能力が増加します。



リストア処理の改善

- > シーケンシャル・アクセスのテープと比較してランダム・アクセスのディスクでは、より迅速に対象のリストア対象のデータにアクセスできます。
- > 手動操作の介入が無いいため、テープの紛失や、不正使用がなくなります。

Teradata バックアップ・ツー・ディスク・コンポーネント

日々増大し続ける大規模な企業データを一元的に統合・管理し、利用可能にするエンタープライズ・データウェアハウス

は、ビジネスに必要な不可欠な構成要素です。そのため、Teradata B2Dは、不測の事態に対応した信頼性および冗長性をあらかじめ備えて設計されています。予期しない障害/災害時において、企業データの復旧能力が、事業の成功と失敗の明暗を分ける大きな要因となります。Teradata B2Dは、あらゆる事態に備えた信頼できる統合バックアップ/リカバリー・ソリューションです。

Teradata Backup-to-Disk Solution

www.Teradata-j.com

Teradata 9204 バックアップ・ツー・ディスクの特徴

- > 低コストの高密度SATAドライブは、バックアップ/リカバリーのようなアライのアプリケーションに最適です。
- > HBAとディスクドライブの間でコンポーネントにエラーが発生した場合、自動的にI/Oパスのフェールオーバーを実行します。

- > コントローラー、ディスクドライブ、電源、ESMおよび冷却ファンは、冗長構成、ホットプラグに対応しています。
- > ドライブ診断は、全ディスクドライブのI/Oを検査し、エラー率/パフォーマンス低下率がしきい値を超過した場合、訂正処置を実行します。
- > 各ドライブ・モジュールのループ・スイッチ技術は、より重大な不良箇所の分離、診断情報の強化により、迅速な問題解決を提供します。

- > ダブル・ビットエラーの検出機能を持つ1GBキャッシュを備えたコントローラーです。
- > 重要データを守るために、すべての構成ドライブ上に構成メタデータを格納する独自テクノロジーにより、データは常に安全に保持されます。
- > オンライン管理機能は、構成、再構成、拡張およびメンテナンス中にもデータへのアクセス、維持を確実にします。

Teradata 9204 バックアップ・ツー・ディスクストレージ構成

キャビネット搭載アレイ・コントローラー数	最大搭載ドライブ・モジュール数 (キャビネットあたり)	最大搭載ドライブ数	最大ストレージ容量	キャビネット重量 (構成時合計)
1	12	192	86.4 TB	657 kg
2	10	160	72.0 TB	617 kg
3	9	144	64.8 TB	615 kg
4	8	128	52.6 TB	613 kg

仕様一覧

システム・スペック システム構成 <ul style="list-style-type: none">40UキャビネットにLSIコントローラー・モジュールおよびドライブ・モジュールを搭載BARシステムとディスク・アレイの間を2つの4Gb/秒のデュアル・ファイバーチャネル・アダプターで接続 ノード/ホスト接続 <ul style="list-style-type: none">各コントローラーには、4つの4Gbファイバーチャネル・ホスト・ポートを搭載BARフレーム・ワークとストレージの間の最大距離：100メートル(328フィート) ディスクドライブ接続 <ul style="list-style-type: none">4Gbファイバーチャネル・ドライブで各コントローラーとの接続 ディスクドライブ接続 <ul style="list-style-type: none">750GB 7,200rpm SATA IIドライブドライブ・モジュール当たり、最大7.2TBの容量(750GBドライブ時)	リダンダント・コンポーネント <ul style="list-style-type: none">ホットプラグ対応コンポーネント<ul style="list-style-type: none">ディスクドライブ、電源、冷却ファン、ESMおよびコントローラー完全な冗長データアクセス<ul style="list-style-type: none">ホストアダプター、データバスおよびコントローラーの自動フェールオーバーをサポートオンライン・リソース・アロケーション キャビネット・スペック 40Uキャビネット <ul style="list-style-type: none">高さ：198.1 cm幅：61 cm奥行：101.6 cm重量(空)：158.8 kg重量(最大)：657 kg作動温度：10°C ~ 35°C電圧範囲：220 ~ 240 VAC周波数：50/60 Hz電流：48 Amp*	コントローラー・モジュール (4U) <ul style="list-style-type: none">高さ：17.5 cm幅：44.5 cm奥行：61 cm重量：36.5 kg ドライブ・モジュール (3U) <ul style="list-style-type: none">高さ：13.0 cm幅：44.7 cm奥行：57.2 cm重量：38.5 kg 安全コンプライアンス <ul style="list-style-type: none">RoHSおよびWEEEに準拠
--	--	---

*電流はキャビネットに搭載するモジュール数およびモジュール・タイプによって異なります。

TERADATA
Raising Intelligence

日本テラデータ株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 (茅場町タワー)
http://www.teradata-j.com/

・このカタログの記載情報は、2008年3月現在のものです。
・このカタログで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。

・TeradataはTeradata Corporationの登録商標です。本文中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。本文中に記載されている製品情報は、予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。